

塩見まきこ

し
お
み

生駒市議会議員候補

無所属

“まっすぐ”が通る生駒に!

最後の良心でありたい

今の生駒市は、市長自身が職員採用試験の採点に加わり、特定の懇意にしている事業者に業務請負させるなど、公平性、公正性に欠け、情報公開度も大きく下がっています。市民生活に直結する問題よりもイベントを優先させるなど、取組みの優先順位もおかしく、必要な人に必要な支援が届いていません。市長の判断がぶれて市民が振り回されることも度々です。

私は、これまで情報開示請求や当事者からの訴えでこれらの問題を議会で取り上げ、追及してきましたが、行政は非を認めません。単に反対するのではなく、条例案、修正案も提出してきましたが、議会も行政に同調することが少なく、一市民として何件も住民監査請求を行い、損害賠償請求の訴訟を提起しています。

自分や子どもたちが育った愛する生駒市を腐敗から守る最後の良心でありたいと思っています。「まっすぐ」が通る生駒の実現に皆さまのお力をお貸しください。

塩見まきこ プロフィール

- 1965年大阪生まれ。1972年に生駒市に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、京都女子大学卒業。京都女子大学大学院文学研究科修了。
- 2007年3月まで私立中・高等学校非常勤講師。
- 2001年に生駒市立保育園で発生したO157集団感染事件を機に、保育環境の改善、病児保育の開設を求める市民活動に携わる。2006年度生駒市学童保育運営協議会代表として、保護者仲間の協力を得て延長保育の導入と大規模学童保育所の解消に取り組む。
- 2007年、子育て環境の向上を主な活動公約に掲げ、生駒市議会議員選挙に初当選。現在4期目。
- いこま市民パワー(株)との随意契約事件3件、生駒市職員の職務専念義務違反事件2件の住民訴訟を提起。
- 社会福祉法人(障がい者福祉施設)非常勤職員/龍谷大学犯罪学研究センター嘱託研究員(法教育・法情報ユニット)/地方監査会計技術者(CIPFA Japan)
- 共著「住民投票の総て」(2020年刊行・[国民投票/住民投票]情報室)



私の活動公約

議員は、市長と違い「行政運営」を直接担いません。具体的事業を実現するには、市長が予算を提案し、議会が議決する必要があるため、「～を実現します!」というお約束はできません。しかし、以下の課題を解決するために必要な政策を実現するため、行政や議会に訴えていくことをお約束します。

社会・まちの課題		今任期中における塩見の訴え	課題解決のため、さらに行政や議会に働きかけること
次世代に元気なまちをつなぐ 人口、生産年齢人口割合の減少で財政縮小社会が進行するなかでも、社会保障や今後のインフラ・公共施設の更新費用の確保が必要です。将来世代に元気なまちのバトンを渡すための財務をコントロールするしくみと、真に必要な事業を選択する計画的な行政運営が重要です。	フェアな社会、市民本位の市政 行き過ぎた民営化、規制緩和によって恣意的な事業者選定が行われ、事業者の意向に沿った契約が行われる危惧があります。公平な事業者選定と、事業が市民本位に行われ、サービスの質を確保するためのしくみを構築する必要があります。	●次世代の負担を軽減する公共施設の更新のための基金の設置を提言。⇒ 公共施設等総合管理基金が設置されました。 ●予算編成プロセスを明確にするため、予算要求段階からの公表を提言。⇒ 概要が公表されるようになりました。 ●財政民主主義実現のツールとなる財務条例の制定を提言。 ●総合計画と行政改革大綱を連動させることを提言。	■公共施設の更新計画に沿った基金の積立てを働きかけます。 ■予算要求と査定を事業レベルで公開することを働きかけます。 ■事業の積算根拠がわかる予算資料や、事業の費用対効果が一目でわかる決算資料など、市民にわかりやすい財政資料の公開を働きかけます。
		●官民連携協定の締結を随意契約理由としないルールの徹底、連携協定の成果を明確にすることを提言。⇒ 官民の事業連携協定等に関する要綱が策定されました。 ●市有地の民間事業者への安値貸付、障害者優先調達推進法を悪用した随意契約、中間事業者を介在させた迂回随意契約などの問題を追及。	■市民本位で官民連携事業が進められているか、今後も厳しくチェックします。 ■契約のルールに則った契約がなされているか、今後も厳しくチェックします。 ■市民の「知る権利」を尊重し、著しく劣った情報公開の姿勢を正します。 ■住民監査請求における請求人及び関係職員の見解陳述の双方の立会いと一般傍聴を認めるよう働きかけます。
尊厳を持ってともに生きる 人の価値を「生産性」で測り、同調圧力に屈し、自分とは異質なものを排除する今の社会。多様性を認めあい、ありのままの自分が尊重され、誰もが「生きづらさ」を感じることなく、尊厳を持って暮らせる共生社会を形成する必要があります。		●認知症になっても安心して暮らせるよう成年後見人の報酬助成の対象拡大を提言。⇒ 本人や親族が申立てる場合も助成を受けられるようになりました。 ●単身高齢者世帯やひとり親世帯など住まいの確保が困難な方に向けての居住支援を提言。⇒ 不動産事業者や家主へのセーフティネット住宅登録制度の周知が始まります。 ●厚生消防委員会で市と生駒市社会福祉協議会との関係性について、調査を提案。⇒ 市が生活保護費を過誤返還させていたケースの発覚につながりました。 ●性的マイノリティに配慮した制服、男女混合名簿の導入を提言。⇒ ジェンダーフリーの制服の導入校が順次拡大中。令和5年度から男女混合名簿へ完全移行。	■市民後見人の養成や後見人の支援に向けて、権利擁護支援センターの支援体制の強化をさらに働きかけます。 ■住宅確保要配慮者の困難は住まい探しに留まりません。複合化、複雑化した困難に対応できる重層的支援体制で支援の充実をさらに働きかけます。 ■生駒市社会福祉協議会は市長が理事会の会長を務め、市職員の再就職先になっています。公共性と自主性を有する民間組織として再構築するよう市から市社協に提案することを働きかけます。 ■自分と他の人の違いを認め合い、自他の要求がともに尊重される建設的な解決能力を養うシティズンシップ教育の推進を働きかけます。
		行政と善政競争し、市民の皆さまの負託に応えられる「チーム・議会」に 議会は多様なバックボーンや考え方を持った市民の代表である議員で構成されます。行政が気づかない視点から問題を提起し、議会で議論しながら政策に転換し、真に必要な政策を実行させる議会の形成に向けて働きかけます。	

生駒市議会議員候補
無所属

塩見まきこ

〒630-0213 生駒市東生駒1-215-402
TEL: 090-3057-7406
FAX: 0743-74-8518

mail:shiomimi753@yahoo.co.jp
HP: www.shiomimakiko.com